

Jークレジット制度 プロジェクト計画書 (森林管理プロジェクト用)

プロジェクトの名称

階上町大字赤保内字寺下県民環境林森林経営活動プロジェクト

プロジェクト 実施者名	青森県知事 三村 申吾
----------------	-------------

妥当性確認申請日 平成27年2月10日

プロジェクト登録申請日 平成27年3月30日

1 プロジェクト実施者の情報

1.1. プロジェクト実施者（複数のプロジェクト実施者がいる場合は代表実施者）

実施者名	(フリガナ) アオモリケン
	青森県
住所	青森県青森市長島一丁目1番1号

1.2. プロジェクト代表実施者以外のプロジェクト実施者 ※1

実施者名	(フリガナ)
住所	

※1 複数のプロジェクト実施者が参加する場合には、欄をコピーしてそれぞれのプロジェクト実施者の情報を記載すること。

1.3. J-クレジット保有者 ※1

保有者名	(フリガナ) アオモリケン
	青森県
住所	青森県青森市長島一丁目1番1号

※1 J-クレジット保有者が決まっている場合は記入すること。

※ 以下、複数のプロジェクトをまとめて申請する場合は、2~4の内容を方法論ごと・実施場所ごとに記載すること。

2 プロジェクト概要

2.1. プロジェクトの目的及び概要

プロジェクト名	階上町大字赤保内字寺下森林経営活動プロジェクト	
目的	<p>青森県は、本州最北端に位置し、西は日本海、北は陸奥湾、東は太平洋と三方を海に囲まれるほか、世界自然遺産白神山地のブナや日本三大美林のヒバ、全国第4位の人工林面積を誇るスギなどの森林が県土の約66%を占めており、全国的にも有数の自然・森林環境に恵まれている。</p> <p>豊かな森林を適切に整備することは、良質な木材の生産はもとより、水源のかん養や土砂の流出の防備などの多様な公益的機能を高度に発揮させ、二酸化炭素の吸収機能を高め低炭素社会の実現に寄与するなど、県民が安心して生活できる基盤となる。</p> <p>この豊かな森林を社会全体で支える気運を醸成するため、J-クレジット制度を活用することとし、プロジェクト実施地である階上町大字赤保内字寺下県民環境林における森林整備による二酸化炭素吸収量をクレジット化し、クレジットの売却で得た資金を森林整備に還元する仕組みを構築する。</p> <p>なお、今回のプロジェクト実施地の階上町大字赤保内字寺下県民環境林は、三陸復興国立公園地域内に位置しており、我が国の景観を代表すると共に、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景を有しており、この景観保全の一助として、今回のプロジェクトによる森林整備を実施する。</p>	
概要	階上町大字赤保内字寺下県民環境林における森林整備による二酸化炭素吸収	
プロジェクト実施場所	市町村	階上町
	場所 ※1	328林班～329林班

※1 「○林班～○林班」、「○○事業区」等と記載するとともに、森林計画図等の図面を添付する。

2.2. プロジェクト実施前後の状況

【プロジェクト実施前のプロジェクト実施地の状況※1】:

樹種	面積、蓄積			備考
	8 齢級	9 齢級	計	
スギ・アカマツ (人工林)	14.89ha 4,319 m ³	66.71ha 21,345 m ³	81.60ha 25,664 m ³	平成27年度に 全区域間伐実施 予定

本プロジェクト実施地は、階上岳（標高739m）の稜線を主尾根とする約80haのまとまった箇所に位置する。プロジェクト実施地の植栽年度である昭和49年～50年頃は、県内全域で多くの造林が行われており、当該実施地全体を近隣の村から応援を得て一斉に植栽した。

植栽は、適地適木を念頭において実施したが、当時スギやアカマツの苗木を手配することは容易でなかったことから、不適地へ植栽せざるを得なかった場合もあった。また、薬剤散布等を実施したものの野兎の被害が数年に渡って発生し、不適地への植栽とあいまって枯損や成長不良木が発生した。このため、成長良好な生存木を残しながら、現地の状況に合わせて補植や改植を複数回実施した結果、林分がモザイク状に混交し、明確に樹種・林齢毎の林分に区分けすることが困難な状況となっている（森林経営計画においても樹種は「スギ・アカマツ」の併記。林齢も補植・改植は反映されていない）。なお、これまでの保育は樹種にとらわれずに成長良好な林木を残存する施業を実施してきた。

上記に示した現地の林分状況から、本プロジェクトでは樹種・林齢毎に林境を分ける事が困難であるため、林内に開設された森林作業道を基にモニタリングエリアの境界とした。そのうえで、標高を基にモニタリングエリアのグルーピングを行い、30ha以下に1箇所設定した樹種ごとのモニタリングプロットにより地位を決定する。なお、吸収量の保守性を担保する観点から、各モニタリングエリアは決定された地位を基に成長量の小さい樹種・林齢を採用し、吸収量を算定する。

なお、計画時に於いてもスギ・アカマツ両方の吸収量の試算を行い（プロジェクト計画書別紙A2、A3項参照）、平成26年時41年生 アカマツ林分として吸収量を算定した。算定結果を本プロジェクト計画書4項に付す。

★ モニタリング手順について

- 1) グルーピングに設定した樹種ごとのモニタリングプロット2箇所※の調査結果を基に、地位の低い結果を当該グルーピングに適用。
- 2) 林齢は保守的な考えから、平成26年時41年生とする。（改植の林齢は考慮しない）
- 3) 上記で決定した地位、林齢を基に、樹種ごとの吸収量を算定し、吸収量の保守的な樹種の吸収量を採用。

※2つのモニタリンググループのスギ、アカマツごとに2箇所のモニタリングプロットを設定。（計8箇所）

※1 森林の現況、森林タイプ（人工林・天然林等）別、樹種別、齢級別の面積と蓄積等について情報を表などにまとめ説明すること。また、間伐対象林についても同様の表と文章を作成すること。なお、説明には数値を用い、具体的に説明すること。また、林分が多数にわたる場合には、総括表を記載したうえで、森林簿、森林施業計画書又は森林経営計画書から上記情報が含まれている部分の写しを添付しても良い。

【プロジェクト実施後のプロジェクト実施地の状況 ※2】：

- ・主伐実施時期：平成45年度
- ・間伐実施間隔：原則5から10年置きに定性間伐を実施（林分の成長状況に応じて実施の可否を決定する。）
- ・間伐率：25%程度

※2 対象林において、森林経営計画又は森林施業計画に基づいた施業の方針について、主伐実施時期、間伐実施間隔、植栽樹種、定量／定性間伐の区分、間伐率等の内容を、数値を用いて具体的に説明すること。また、林分が多数にわたる場合には、総括表を記載したうえで、森林簿、森林施業計画書又は森林経営計画書から上記情報が含まれている部分の写しを添付しても良い。

2.3. プロジェクト要件への適合

プロジェクトの実施日 ※1	<p>■平成25年4月以降に実施されたプロジェクトである</p> <p>□平成24年4月～平成25年3月に実施されたプロジェクトであり、オフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けていない ※2</p> <p>□平成20年4月～平成25年3月に実施されたプロジェクトであり、オフセット・クレジット（J-VER）制度におけるプロジェクト登録を受けている ※3</p>
追加性	■追加性を有している ※4

※1 「プロジェクトの実施日」とは、森林経営計画又は森林施業計画に基づく適切な施業又は森林の保護（森林の巡視等を含む）を実施した日を指す。

※2 【F0-002（植林活動）について】平成25年度中に限りJ-クレジット制度のプロジェクトとして登録申請を行うことができる。

※3 【F0-002（植林活動）について】オフセット・クレジット（J-VER）制度から移行したプロジェクトについては、「平成25年4月以降に実施されたもの」という要件を満たしている必要はない。

※4 【F0-001（森林経営活動）について】追加性評価に関する詳細情報は別紙（A.1）に示すこと。

3 方法論

3.1. 適用方法論

適用する方法論	方法論番号	F0-001 ver. 2.1
	方法論名称	森林経営活動

3.2. 方法論の適用条件への適合

条件 1	■ 適合している	【説明】 プロジェクト実施地は、森林法第 5 条に基づく地域森林計画の対象森林である。
条件 2 ※1	■ 適合している	【説明】 プロジェクト実施地は、階上町長から平成 26 年 1 月 6 日に認定を受けた森林経営計画（認定番号：階上 26-2）に沿って実施され、かつ森林経営計画単位で実施されるものである。
条件 3 ※2	■ 適合している	【説明】 プロジェクト実施地において、認証対象期間内に森林経営計画に主伐の計画はない。
条件 4	■ 適合している	【説明】 プロジェクト実施地において、認証対象期間内に森林経営計画に基づく間伐が計画されている。
条件 5	■ 適合している	【説明】 認証対象期間内において、森林経営計画に土地転用の計画はない。

※1 【F0-001（森林経営活動）について】算定対象とする施業が含まれる全ての森林経営計画又は森林施業計画の認定番号及びその認定期間を記載すること。

※2 【F0-002（植林活動）について】算定対象とする施業が含まれる全ての森林経営計画又は森林施業計画の認定番号及びその認定期間を記載すること。計画が認定されていない場合は、モニタリング報告書に記載すること。

3.3. モニタリング・算定方法

プロジェクト実施後吸収量		
主要／付随的	吸収活動	温室効果ガスの種類
主要	森林経営活動	CO2
主要		CO2

プロジェクト実施後排出量		
主要/ 付随的	排出活動	温室効果ガスの種類
主要	なし	CO2
主要		CO2

4 吸収計画

認証対象期間 ※1	平成26年12月1日 ~平成33年3月31日 (6年0ヶ月)							
吸収計画※2	年度	ベースライン 吸収量		プロジェクト 実施後吸収量		プロジェクト 実施後排出量		吸収量
	平成25年度	0	t-CO2	0	t-CO2	0	t-CO2	0 t-CO2
	平成26年度	0	t-CO2	131	t-CO2	0	t-CO2	131 t-CO2
	平成27年度	0	t-CO2	397	t-CO2	0	t-CO2	397 t-CO2
	平成28年度	0	t-CO2	397	t-CO2	0	t-CO2	397 t-CO2
	平成29年度	0	t-CO2	397	t-CO2	0	t-CO2	397 t-CO2
	平成30年度	0	t-CO2	397	t-CO2	0	t-CO2	397 t-CO2
	平成31年度	0	t-CO2	397	t-CO2	0	t-CO2	397 t-CO2
	平成32年度	0	t-CO2	397	t-CO2	0	t-CO2	397 t-CO2
	合計	0	t-CO2	2,513	t-CO2	0	t-CO2	2,513 t-CO2

※1 認証対象期間は、プロジェクト開始日の含まれる年度の開始日から平成33年3月31日までの間で設定すること。

※2 吸収量の算定方法については、別紙A.2に記載すること。

5 データ管理

データの品質を確保するための仕組みとして、データ収集・集計等体制の整備と個別データの信頼性の向上について以下に記載する。詳細については、J-クレジット制度実施規程（プロジェクト実施者向け）「2.4」を参照のこと。

5.1. モニタリング体制

データ管理責任者 ※1	青森県農林水産部林政課長
モニタリング担当者 ※1	青森農林水産部林政課森林環境グループ J-クレジット担当者

※1 担当者の組織、役職名を記載すること（個人名は不要）。原則として、それぞれ別の担当者をおくこと。

5.2. モニタリングデータの収集・記録・保管

モニタリングデータの収集・記録・保管の手続 ※1	<p>【モニタリングデータの収集・記録・保管の手続】</p> <p>モニタリングで使用する資料は、青森県庁林政課内書庫で保管する。</p> <p>定例人事異動により担当者の変更があった場合には、データの引継ぎをもれなく行う。</p> <p>【森林管理のための巡視を行う体制】</p> <p>当該プロジェクトの管理については、外部委託により管理しており、青森県森林組合連合会が受託していることから、当該森林がJ-クレジットのプロジェクト実施地であることについて説明し、定期的な巡視等について指示することとする。</p>
データ保存期間 ※2	認証対象期間終了後 <u>10</u> 年間

※1 認証対象期間において複数の担当者がモニタリングを行う場合には、全ての担当者が適切にモニタリングデータの収集・記録・管理を行うための仕組みも併せて記載すること。その際、森林管理のための巡視を行う体制を明記すること（森林の巡視とは、一般的に、森林の保全管理及び森林の産物の盗採、林野火災等の森林被害の防止及び発見のために、定期的及び必要に応じ森林において行うもの）。

※2 原則認証対象期間終了後 10 年間とする。

6 特記事項

6.1. 吸収量に影響を与える可能性のあるリスクの特定について ※1

吸収量に影響を与える可能性のあるリスクがあるか

有 無

※1 プロジェクト排出量が増加し、プロジェクト吸収量を上回る可能性のあるリスクも含む。リスクの例は、記載例を参照

(「有」にチェックした場合に記入)

項目	概要
リスク要因	春先に時折、重く湿った雪が大量に降り、雪害が発生することがある。

6.2. ダブルカウントの防止措置について

類似制度へプロジェクトを登録しているか。

登録している

(類似制度名：_____)

類似制度での認証予定期間：_____)

登録していない

6.3. 法令等の義務の有無について

プロジェクトの実施は、法令等の義務履行によるものではないか。

法令等の義務履行によるものではない。

法令等の義務履行によるものである。

6.4. 認証対象期間の設定について

認証対象期間の前後の年度に、主伐の実績又は計画はないか。

有 無

有の場合、認証対象期間は、クレジットを過大に発生させる目的で、主伐の時期を意図的に避けて設定していないか。

意図的に避けたものではない

(設定の考え方：_____)

(例) 森林経営計画の計画期間を認証対象期間としている